



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 共同ピーアール株式会社

コード番号 2436 URL <https://www.kyodo-pr.co.jp>

代表者 （役職名） 代表取締役 （氏名） 石栗 正崇

問合せ先責任者 （役職名） 取締役コーポレート本部本部長 （氏名） 信澤 勝之 TEL 03-6260-4850

半期報告書提出予定日 2025年8月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	3,958	11.0	632	11.8	626	8.6	355	34.3
2024年12月期中間期	3,567	9.3	565	26.5	576	27.0	264	8.5

（注）包括利益 2025年12月期中間期 406百万円（28.9%） 2024年12月期中間期 315百万円（7.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	40.76	40.00
2024年12月期中間期	30.50	30.11

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	5,871	4,089	62.0
2024年12月期	5,810	3,889	58.8

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 3,637百万円 2024年12月期 3,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期（予想）			—	14.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	16.1	1,280	19.1	1,280	18.3	730	38.7	84.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更：有

除外 1社 （社名）株式会社KOLTECH

（注）詳細は添付資料「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（当中間連結会計期間における連結の範囲の重要な変更）」をご覧ください。

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	8,809,992株	2024年12月期	8,809,992株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	78,870株	2024年12月期	105,591株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	8,714,282株	2024年12月期中間期	8,673,000株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報」の「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年1月1日～2025年6月30日）における日本国内の経済環境は、社会経済活動の正常化や雇用情勢に持続的な回復基調が見られ、インバウンド需要の回復や、円安を背景とした輸出関連企業の利益拡大も全体的な景気回復の下支えとなっています。一方で、世界情勢による原材料価格の高騰や、不安定な為替相場による物価上昇の影響等により、依然として不透明な状況が続いております。このような状況の下、企業価値の可視化や対外的な信頼の確保を担うPR戦略の重要性はこれまで以上に高まっており、リテイナー業務のほか、危機管理案件やロビー活動の相談や引き合いが増加いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間における売上高は3,958百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益632百万円（同11.8%増）、経常利益626百万円（同8.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益355百万円（同34.3%増）となりました。

各セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①PR事業

主力のPR事業では、生成AIを活用したパブリック・リレーションズ支援ツールの実証運用を開始し、広報業務の生産性と精度の向上を実現したことにより、クライアント企業への提供価値をさらに高め、コンサルティング型サービスを強化する基盤が整いつつあります。また、官公庁・大学・地方自治体といった公共セクター向けのPR案件に加え、Saas・ヘルスケア・スタートアップ領域への進出も進展しました。多様な業種からの引き合いに対応できる体制を強化したことにより、顧客基盤のさらなる安定と成長を確保しました。

この結果、PR事業における当中間連結会計期間の売上高は2,889百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益555百万円（同20.2%増）となりました。

②インフルエンサーマーケティング事業

2025年上期における株式会社VAZは、売上高・利益ともに前年同期を大幅に上回り、過去最高の業績を達成しました。特にプロダクションタイアップおよびソーシャルメディアマーケティング領域で、利益貢献が大きく、著しい伸びを見せました。中でも、大型タイアップ案件の獲得は、売上の大幅増加に直結し、VAZがマーケティングカンパニーとしての競争力を着実に強めていることを示しました。また、4月にはTikTok向けショートドラマチャンネル『バグる、愛。』の配信を開始し、Z世代の動画消費傾向にフィットした短尺コンテンツ戦略により、プラットフォーム横断型のメディア展開を加速させています。

この結果、インフルエンサーマーケティング事業における当中間連結会計期間の売上高は583百万円（前年同期比27.0%増）、セグメント利益61百万円（同18.5%増）となりました。

③AI・ビッグデータソリューション事業

株式会社キョウオーカーは、自社プロダクトの機能強化とデータサイエンス領域での大型案件獲得により、AI技術とデータエンジニアリングを軸とした競争優位性を一層確固たるものにし、主力サービスである「StockDataPro」では、生成AIを活用した案件の創出が好調に推移しました。データ活用人材の社内育成を支援するAI内製化支援事業では、食品やアパレル業界大手からの受注を獲得し、導入企業のDX推進を強力にサポートした一方で、データサイエンティストの採用を強化いたしました。

この結果、各サービスが好調に伸びた影響により、AI・ビッグデータソリューション事業における当中間連結会計期間の売上高は485百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益79百万円（同31.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

（資 産）

当中間連結会計期間末における流動資産は4,827百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が162百万円増加した一方、売掛金が151百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産が71百万円減少するも、投資その他の資産が31百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は5,871百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。

（負 債）

当中間連結会計期間末における流動負債は1,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少いたしました。これは主に、契約負債が109百万円、賞与引当金が23百万円増加した一方、買掛金が23百万円、未払金が74百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は266百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が86百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は4,089百万円となり、前連結会計年度末に比べ200百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が250百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.0%（前連結会計年度末は58.8%）となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ162百万円増加し、3,387百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は566万円（前年同期間は504百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益626百万円、のれん償却額64百万円といった資金増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において投資活動の結果支出した資金は62百万円（前年同期間は15百万円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出15百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出39百万円といった資金減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において財務活動の結果支出した資金は337百万円（前年同期間は205百万円の支出）となりました。これは主に、子会社の自己株式の取得による支出134百万円、配当金の支払額104百万円、長期借入金の返済による支出94百万円といった資金減少要因があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想について、2025年2月13日に公表した「2024年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,259,899	3,422,243
受取手形	—	1,325
売掛金	1,268,975	1,117,149
契約資産	28,672	18,707
未成業務支出金	133,063	178,820
その他	61,353	92,592
貸倒引当金	△6,454	△3,657
流動資産合計	4,745,510	4,827,179
固定資産		
有形固定資産	119,793	138,708
無形固定資産		
のれん	363,899	299,681
その他	62,425	55,135
無形固定資産合計	426,324	354,816
投資その他の資産		
投資有価証券	116,194	121,460
関係会社株式	16,119	16,722
破産更生債権等	51,012	51,288
敷金及び保証金	186,325	201,078
繰延税金資産	34,453	35,619
退職給付に係る資産	145,905	159,302
その他	19,567	16,371
貸倒引当金	△51,012	△51,288
投資その他の資産合計	518,564	550,554
固定資産合計	1,064,682	1,044,080
資産合計	5,810,193	5,871,259
負債の部		
流動負債		
買掛金	398,092	374,883
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	182,169	174,001
未払金	183,830	109,771
未払費用	94,730	95,469
未払法人税等	269,711	231,191
契約負債	78,399	187,802
賞与引当金	123,377	147,315
株主優待引当金	16,000	16,000
受注損失引当金	2,729	302
その他	167,596	128,656
流動負債合計	1,566,636	1,515,393
固定負債		
長期借入金	306,898	220,851
退職給付に係る負債	10,497	11,640
役員退職慰労引当金	2,275	14,058
その他	34,727	19,844
固定負債合計	354,398	266,395
負債合計	1,921,034	1,781,788

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,812	553,812
資本剰余金	548,082	505,210
利益剰余金	2,314,221	2,564,958
自己株式	△66,762	△49,878
株主資本合計	3,349,353	3,574,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,639	41,118
退職給付に係る調整累計額	25,259	22,729
その他の包括利益累計額合計	67,899	63,847
新株予約権	136,143	147,575
非支配株主持分	335,761	303,945
純資産合計	3,889,158	4,089,470
負債純資産合計	5,810,193	5,871,259

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）
売上高	3,567,204	3,958,465
売上原価	1,937,695	2,185,182
売上総利益	1,629,509	1,773,283
販売費及び一般管理費	1,063,894	1,140,755
営業利益	565,614	632,528
営業外収益		
受取利息	14	1,138
受取配当金	656	741
受取賃貸料	3,841	3,736
為替差益	9,472	—
持分法による投資利益	2,551	603
その他	530	455
営業外収益合計	17,066	6,675
営業外費用		
支払利息	3,011	2,956
不動産賃貸費用	2,491	2,451
為替差損	—	7,165
その他	257	106
営業外費用合計	5,759	12,680
経常利益	576,921	626,523
特別損失		
固定資産除却損	234	—
投資有価証券評価損	29,374	—
特別損失合計	29,608	—
税金等調整前中間純利益	547,312	626,523
法人税、住民税及び事業税	225,093	214,382
法人税等調整額	△1,778	1,767
法人税等合計	223,315	216,149
中間純利益	323,997	410,373
非支配株主に帰属する中間純利益	59,504	55,183
親会社株主に帰属する中間純利益	264,492	355,189

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）
中間純利益	323,997	410,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,366	△1,521
退職給付に係る調整額	△3,357	△2,530
その他の包括利益合計	△8,724	△4,051
中間包括利益	315,273	406,321
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	255,768	351,137
非支配株主に係る中間包括利益	59,504	55,183

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	547,312	626,523
減価償却費	27,962	27,498
のれん償却額	74,747	64,229
株式報酬費用	21,871	21,823
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,576	△2,521
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45,611	23,937
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	141	150
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△11,432	△12,254
受取利息及び受取配当金	△670	△1,880
支払利息	3,011	2,898
固定資産除却損	234	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	29,374	—
持分法による投資損益 (△は益)	△2,551	△603
売上債権の増減額 (△は増加)	150,634	161,010
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,392	△45,756
仕入債務の増減額 (△は減少)	△174,905	△23,209
前受金の増減額 (△は減少)	20,238	109,403
未払費用の増減額 (△は減少)	△21,201	1,101
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,658	△21,389
その他	△36,987	△111,305
小計	653,763	819,656
利息及び配当金の受取額	491	1,728
利息の支払額	△3,066	△2,911
法人税等の支払額	△147,015	△252,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	504,172	566,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13,100	△9,500
定期預金の払戻による収入	13,101	9,500
有形及び無形固定資産の取得による支出	△14,054	△39,483
投資有価証券の取得による支出	△1,860	△6,849
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△958
敷金及び保証金の差入による支出	—	△15,000
その他	105	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,808	△62,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△119,768	△94,215
自己株式の取得による支出	△23	△17
子会社の自己株式の取得による支出	—	△134,070
配当金の支払額	△86,247	△104,180
その他	621	△5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,417	△337,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,877	△4,000
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	288,823	162,545
現金及び現金同等物の期首残高	2,656,181	3,225,154
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,945,004	3,387,700

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更）

当社の連結子会社である株式会社VAZは、当中間連結会計期間中に株式会社KOLTECHを吸収合併しています。これにより、株式会社KOLTECHを当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しています。

なお、本合併は当社の子会社同士の合併であるため、当社の連結業績へ与える影響は軽微です。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年3月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式26,741株の処分を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が16,883千円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が49,878千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	P R 事業	インフルエンサー マーケティング事業	A I ・ビッグデータ ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,658,180	459,128	449,896	3,567,204	—	3,567,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,950	1,626	8,576	△8,576	—
計	2,658,180	466,078	451,522	3,575,780	△8,576	3,567,204
セグメント利益	462,481	51,823	115,516	629,821	△64,206	565,614

(注) 1. セグメント利益の調整額△64,206千円には、のれん償却額△64,217千円、各報告セグメントに配分していない全社費用10千円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	P R 事業	インフルエンサー マーケティング事業	A I ・ビッグデータ ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,889,788	583,200	485,477	3,958,465	—	3,958,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,600	1,740	1,626	4,966	△4,966	—
計	2,891,388	584,940	487,103	3,963,431	△4,966	3,958,465
セグメント利益	555,993	61,424	79,429	696,847	△64,318	632,528

(注) 1. セグメント利益の調整額△64,318千円には、のれん償却額△64,229千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89千円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。